

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢掛	0	0	0	0	0	1	0	0	×	1

矢：花岡、森上 — 小池

文責：春名 野々花（普通科探究コース）

矢掛高校の先発マウンドには、昨日完投勝利をおさめた1年生右腕の花岡（木之子中）が上がる。

- 1回表、関西の攻撃。先頭打者に右前打を放たれ、犠打も決められる。次打者に四球を与えてしまい、さらにゴロにより塁を進められ、二死二・三塁となる。しかし、次打者を三邪飛に抑え、この回無失点。
- 1回裏、矢掛高校の攻撃。相手右腕に対して、三人の左打者を送り、粘って25球を投げさせるも出塁できず。
- 2回表、関西高校の攻撃。二死から四球を与えてしまうも、次打者を遊ゴロに抑える。
- 2回裏、矢掛高校の攻撃。二死から森上（総社西中）が右前打を放ち、盗塁も決める。しかし、期待の真砂（木之子中）は三振となり、先制点を奪えない。
- 3回表、関西高校の攻撃。二死から走者を背負うが、次打者を三振に抑える。
- 3回裏、矢掛高校の攻撃。先頭打者の花岡（木之子中）、続く上山（木之子中）が連続四球で出塁する。次打者の赤木（小北中）がきっちり犠打を決め、一死二・三塁とチャンスが拡大する。しかし、次打者の内野ゴロで三塁走者が本塁タッチアウトとなり、点を奪えない。一塁に残った大山（小北中）が盗塁を決めるも、三澤（真備東中）は投飛で無得点。しかし、ここまで、粘り強い攻撃を続け、62球を投げさせる。
- 4回表、関西高校の攻撃。先ほどの攻撃で、負傷した花岡に代わり、矢掛高校は森上をマウンドへ送る。緊急登板となった森上だったが、安定感のある投球で走者を許さず、この回を終える。
- 6回裏、矢掛高校の攻撃。先頭打者の赤木が中前打を放ち、続く大山が犠打を決める。さらに二死から相手の暴投により、三塁まで走者をすすめ、猪原（高屋中）が四球により出塁する。ここで、打席には主将の小池（総社西中）。小池の絶妙な打球が悪送球を誘い、待望の先制点を奪う。
- 8回表、関西高校の攻撃。先頭打者に四球を与えてしまい、犠打も決められるが、後続を抑え無失点。
- 8回裏、矢掛高校の攻撃。どうにか出塁したい矢掛高校だったが、上位打線が相手投手の速球におされ、出塁できず。
- 9回表、関西高校の攻撃。森上の好投により、三者連続三振に抑え、ここで試合終了。

矢掛高校は1-0で関西高校に勝利した。今回の試合では、初回からピンチを迎えたり、怪我などのアクシデントがあったりと、厳しい面もあったが、それぞれが落ち着いてプレーできていた。接戦だった中、少ないチャンスをもにすることができ、強敵である関西高校から点を奪えたことは選手の強みになったと思う。ダブルヘッダーとなる決勝戦だが、この雰囲気のまま全力で臨んでほしい。

## 新チームの戦績

17 勝 2 敗 3 分